

## 養護施設「ゆりかご園」年末行事参加について



餅をつく広報官

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 信國 陸尉）は、令和元年12月27日（金）小田原市に所在する養護施設「ゆりかご園」の年末行事（餅つき）に参加した。

当日は、天気にも恵まれ施設に居住する子供達及び施設周辺自治会及び婦人会の方と一緒に餅つきを実施して、地域住民の方とコミュニケーションを取ること、自衛隊の諸活動についてご理解していただくことができ「いつもありがとうございます」「これからも宜しく願います」など温かい言葉をいただいた。

また餅つき終了後は、子供達と追いかけてっこなどをして園児と触れ合いを通じて、元気をもらった。

小田原地域事務所は、「今後も、地域に密着した広報活動を実施して防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、自衛官募集につなげていきたい。」としてい

## 横浜市内の市立高校で進路説明会

### 参加者から「一般曹候補生にはどうしたらなれますか？」



小松曹長の講話に聞き入る学生達

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原 陸尉）は、1月8日（水）横浜市立横浜総合高等学校（横浜市）で実施された進路説明会に参加した。これは当高等学校主催の説明会で、自衛隊のほか企業等に「パワープレイズ」人生の転機」と題し、キャリア講話の依頼を受けて実施されたものである。特に、「失敗談を乗り越えてきた経験」と「チャレンジすることの大切さについて話してほしい」という要望を受けて行った。当日は、1学年の約30名の学生と12社の企業等の講師が集まり、各教場に分かれてそれぞれ希望する学生に対し話をした。神奈川地方協力本部もベテラン広報官で当学校担当でもある小松曹長が教壇に立ち、自衛隊の仕事を含め、陸士から陸曹までの経験談などを熱弁した。

当初、制服姿での講話に学生の表情にやや硬さが見えたが、時間の経過とともに次第に和み、ユーモアを交えた小松曹長の問いかけに笑顔で答えていた。学生からは「定年は何歳ですか」「一般曹候補生にはどうしたらなれますか」など将来就職先に自衛隊を視野に入れていこうとすることがあった。

横浜中央募集案内所は「このような説明会に積極的に参加して、職業としての自衛隊をPRするとともに、将来の就職先として意識してもらい募集成果につないでいきたい」としている。

## 「横浜消防出初式2020」において災害時における自衛隊の活動をPR



自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 夏井隆 1等海佐）は、1月12日（日）、横浜赤レンガ倉庫で実施された「横浜消防出初式2020」において、災害時における自衛隊の活動をPRした。

当日、神奈川地本は10月12日（土）に甚大な被害をもたらした台風19号における災害派遣などの展示ブースを設置し、来場者に対して災害時における自衛隊の活動を説明するとともに、予備自衛官及び即応予備自衛官の重要性を説明し、各種広報グッズの配布を行った。

来場者の中には、パネルに映る自衛官が災害派遣で活躍する勇姿を見て感銘を受ける方もいるとともに、即応予備自衛官の制度等について興味を深め、熱心に説明を聞く様子も見られた。

神奈川地方協力本部は「今後も引き続き、あらゆる機会を活用して自衛隊の役割をPRするとともに、自衛官・予備自衛官及び即応予備自衛官志願者の確保につなげていきたい」としている。